

CASE
01

ごみの分け方・出し方をみんなで考えよう

KIFA×まちづくり協働課×資源循環推進課×UDCBK

令和4年度実施
やさしい日本語サロン
共催イベント

事業の目的・背景

- ・多文化共生推進プランの推進
- ・外国人住民への日常生活に必要な知識やルールの周知
- ・市が作成したごみ出し・分別に関する動画(英語版・やさしい日本語版)を外国人住民に視聴してもらい、ごみ出し・分別に関する意見をもらう

事業の内容

- ・KIFAが毎週開催しているやさしい日本語サロンに合わせ、共催イベントを実施した
- ・ごみ出しに関する動画を視聴してもらい、外国人の感想等を聞いた
- ・実際のごみのサンプルを使って分別クイズを実施した
- ・資源循環推進課はオンライン参加



協働のポイント

- ・日本語サロンと共催することで、市の施策に対し、外国人住民から直接意見をもらうことができた。
- ・日本語サロンの参加者に、ゴミ出しのルールを知ってもらうことができた。
- ・UDCBKという市民と行政がまちづくりをテーマに交流できる場で開催したことで、国籍関係なく、ひとつのテーマに一緒に取り組むことができた。

CONTACT

- まちづくり協働課 草津市役所2F
[TEL]077-561-2337 [E-mail]machi@city.kusatsu.lg.jp
- 草津市国際交流協会(KIFA) 草津市役所2F
[TEL]077-561-2482 [E-mail]kifa-japan@coda.ocn.ne.jp

CASE
02

地域に根差した企業とともに取り組む健康づくり

(株)平和堂×地域保健課

令和4年度実施
(株)平和堂
連携事業

事業の目的・背景

- ・市民の健康への意識を高め、行動変容に繋げるためのポピュレーションアプローチが必要
- ・(株)平和堂はこれまでからベジチェックなど、健康に関する企画を実施している
- ・イベントを実施することで、フレンドマート草津大路店の集客が見込める

事業の内容

- ・キラリエプロムナードやフレンドマート内のフレンドコートにおいて、ベジチェックと血圧測定、結果に基づいた健康相談を実施
- ・月1回のペースで3回事業を実施。参加者は延べ208人となった。
- ・フレンドマート草津大路店だけでなく、平和堂の他店舗との連携事業にも広がった。

協働のポイント

- ・民間企業と市それぞれの目的を一致させることで事業の実現につながった。
- ・打ち合わせでは、互いの立場を尊重しながら得意分野を活かした役割分担を行った。

例) 市→周知用のチラシ作成
平和堂→フレンドマートの折込チラシへの掲載

CONTACT

■ 地域保健課 草津市役所2F
[TEL]077-561-6865 [E-mail]chiiki@city.kusatsu.lg.jp